

◆共生ビジョン懇談会意見等検討状況

資料5

No.	分類	取組項目	意見等の概要	意見等に対するこれまでの考え方		作業 部会	現在の検討状況(R6.6.25現在)		
				①取扱区分	②考え方		①取扱区分	②考え方	③備考
1	1-1 医療	(1)救急医療体制等の確保	【令和3年度第1回共生ビジョン懇談会】 十勝全域を対象とする2次救急医療体制の新たな枠組みの構築に向けた協議が必要である。その上で、3次救急を担う救命救急センターの充実に必要な運営支援を継続するとともに、帯広市内の2次救急を担う医療機関に対しても、各市町村からの財政支援などの見直しを再度求める。また、コロナ禍にあるが、十勝総合振興局が主催する「病院群輪番制に係る課題検討会」の開催状況や協議内容の報告が必要である。	ウ) 継続協議	これまで、十勝総合振興局を中心とし検討を進めてきたところでありますが、現在、2次救急医療体制を維持していくための手法等について、帯広市と各町村で協議しているところであり、早期実施に向けた検討を進めてまいります。	医療・福祉	ア) 令和6年度から実施	休日夜間等の当番病院等にかかる医療体制を維持するため、十勝管内19市町村で、令和6年4月1日付で2次救急医療対策事業に関する協定書を締結し、令和6年度から支援が始まりました。	
2	1-1 医療	(2)地域医療体制の充実	【令和3年度第1回共生ビジョン懇談会】 病診連携の推進や不足する医師・看護師の確保に関して協議・検討する場の設置が検討されている。しかし、コロナ禍にあり、現在も未開催で、開催に向けての情報共有や協議も行われていない状況にあり、今後の見通しについて報告が必要である。	ウ) 継続協議	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、検討の進捗が滞っている現状にあります。令和5年5月8日以降、感染症分類が「2類相当」から「5類」に移行されたところであり、新型コロナウイルス感染症が及ぼした影響や今後の対応の在り方など、医師会や関係機関との協議に向けて改めて整理・検討してまいります。	医療・福祉	ア) 令和6年度から実施	医療法に基づき北海道が策定・実施する北海道医療計画において、病診連携の推進はもとより、令和6年4月から始まった医師の働き方改革を踏まえ、今後の医療体制の維持・充実に図ることから、十勝保健医療福祉圏域連携推進会議等の場を活用して、北海道と協議・検討してまいります。	